

## 学術論文作成法（二）（2単位）

担当者氏名 塩本 明弘、金岩 稔、山家 秀信

### ◆学習・教育目標（到達目標を記載）

学術論文作成法（一）の習得を前提に、本科目においては、英文法を復習しながら欧米学術論文の作成法や投稿方法などをデータの解析も含めて講義する。具体的には、①欧米学術論文等の紹介を通して、表現形式の一般的慣習を理解させ習得させる、②学術論文の文体について、守るべきこと、避けるべきことなどの事例を習得させる、③専門領域における表現形式や統計学的処理を理解させ習得させる、④自分の研究成果を欧米学術論文の書き方に則ってまとめさせる、などの講義および演習を行う。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

欧米論文 欧米論文の執筆 欧米論文の投稿 統計学的処理

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス (担当: 塩本明弘)	講義の目標と進行、英語と日本語	◎シラバスを熟読し、どのような講義が行われるかを事前に理解しておくことが必要である。講義中には積極的に質問をすることに心がけること。また、講義中に配布された資料などを基に復習し、疑問などが生じた場合には、次回の講義において質問をすること。加えて、講義中に出された課題については提出期日を厳守して取り組むこと。
2～4	欧米学術論文作成のための英語力の向上 (担当: 塩本明弘)	冠詞、名詞、英語の時制、関係代名詞と関係副詞、分詞構文など	
5	欧米学術論文作成の練習 (担当: 塩本明弘)	英語で自分の修士論文の要旨を書いてみる	
6～7	統計学の基本 (担当: 金岩稔)	科学論文作成に用いる統計学的手法の復習	
8～10	欧米学術論文作成のための統計学的手法の向上 (担当: 金岩稔)	実際のデータを用いたの演習	
11～12	欧米学術論文の投稿にあたって (担当: 山家秀信)	欧米学術論文投稿の仕方や注意点	
13～15	論文投稿から受理・出版まで (担当: 山家秀信)	投稿する論文をどのように完成させるか	

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名/著者/発行所（発行年）

適宜、資料を渡す

### ◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所（発行年）

授業中に紹介する

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

授業参加態度（授業中の質問に対する回答等）を加点し、最終評価を行う。レポートで評価する

### ◆オフィスアワー

随時

### ◆その他受講上の注意事項

◎予習、復習を怠らないこと。講義においては、積極的に質問をすること